

## お米はこうして植えられるんだ



田植え機の作業を食い入るように見守る児童たち

6月17日、山口市立上郷小学校2年生が八方原にやってきました。例年行われている「地域のことを知る」学習です。  
2年生は学校給食を作ってくれる給食センターを見学したのちにやってきました。

麦の刈取りが予定より遅れて行われしました。熟れ具合と、天候の関係です。  
麦はコメと比べて、脱穀が難しい



10年以上頑張るコンバイン

### 慎重に麦の刈取り

ました。今年度の2年生は68人、元気いっぱいです。児童の中には八方原地



先生から講師の紹介、「杉山さんよろしく」

区の3人も含まれています。担当の藤尾先生の話では、「ここに来る前から僕たちが案内する」と大張り切りだったそうです。地元のことを伝えようという気持ちを感じられて、何だか嬉しいですね。

ほとんどの児童は農業機械など見たこともありません。水田の作業、お米づくりのこと、知らないことばかりです。今回は役員の杉山均さんが先生役になり、児童の質問に答えました。

上郷小学校では5年生が山口農業高校で田植えの実習を、高校生の指導で行っています。苗作りからつ刈取りまで、連携した活動が行われます。その時にこの見学が役立つでしょう。

いらしく、低速での刈取りとなります。担当者の一人重富賢二さんの操るコンバインは平成13年度購入の文字が書かれています。尋ねてみると「修理しながら使っているんだ」とのこと、みんな大事にされていますね。

### バレーボール大会不出場

7月7日の大会には選手が揃わないため、八方原チームは不出場となりました。また次の機会を待ちましょう。

# 水田の「雄」高性能田植え機



疾走するレーズ用車両のシル  
エットをも彷彿させる

6月7日から農業用水のポンプア  
ップが開始されました。今年  
は麦の刈取りが終わっていない  
こともあり、南側（下流側）から  
田植え作業が始まり、18日  
にすべての水田に植え付けが  
終わりました。

「植え付け作業は「田植え機」  
での作業になりますが、年々  
大型化しています。また圃場の  
集約も進んで、畔が無くなった  
ところもありました。

関係者に「もっと広くしたら」と  
聞いてみると、「刈取りのコン  
バインの容量の問題が出てくる  
のだ」とのこと。そう簡単には  
行かない事情があるのです  
ね。

今年春、日本経済新聞の「時事  
解析」というコラムに変わっ  
た。田富雄編集委員が寄港し  
ていました。

日本人一人あたりのコメ消費  
量は1962年度の118キログ  
ラムから減り続け、2008年  
度には59キログラム、つまり  
半分になったわけです。また、  
消費の形も大きく変わって  
います。2011年の家計調査  
では、家庭で食べるコメの出  
荷が初めてパンに抜かれたと  
あります。反面弁当やパック  
ご飯などの加工品は増え、外  
食産業の消費も定着しました。  
いわゆる「中食」については  
実感できますね。

## びびり生きていく日本のコメ農家

外食産業などは安いコメを大  
量に購入しています。そのため  
に低価格米が品薄となり、価  
格が上昇したのです。すると、  
それまで人気のなかった外国  
米がにわかに人気が高まりだ  
したので

す。しかし、年間77万トンに  
限られた輸入米の主食用にな  
るのは10万トンあまり。関  
連団体は政府に対して昨年6  
月に備蓄米の放出と輸入米の  
主食用拡大を求めたのです。  
減反政策で生産量

た「米騒動」以来、価格の高騰  
を防ぐために価格統制が敷か  
れてきました。そして昭和60  
年代以降は、それまでの食糧  
不足に対応するものではなく、  
価格を下支えする制度になり  
ました。そ

## 神楽の人気に地域差

ハラタコ

岩屋の権現様のちゃんちぎ舞、  
長い歴史を持つ神楽舞です。  
火事で焼失した熊野神社の再建を  
記念して始まったといわれ  
ています。今でも脈々と受け  
継がれていますが、あまり人  
気があるとは言えません。

ところ変わって島根県や広島  
県の北部地方では「神楽」は  
とても重要なイベントとして  
位置づけられ、毎週のように  
大会が開かれます。

先日広島県安芸太田町のふれ  
あいセンターで開かれた「中  
国大会」を



場面退治物け  
華やかも舞台のどの

見せてもらいました。昼前から  
始まった大会は延々と夜遅く  
まで続きます。観客は途中で  
入退場を繰り返しながら、お  
気に入りの神楽団の上演を  
楽しみます。若い人から高  
齢者まで思い思いに楽しん  
でいますが、踊りの見せ場  
になると、やんやの喝采。文  
化の違いは大きいです。

の抑制をしながら、大きな需  
要には答えられないという大  
きなミスマッチが起きていま  
す。

江戸時代にはコメは市場で  
自由に取引されてきました。  
大正時代に起こ

これはコメ農家にとって、良  
かったかどうかは別として、  
時代の変化にそぐわないも  
のになったことは間違いない  
かもしれません。競争力ある  
農業には生産の合理化が欠  
かせません。コメ販売農家は  
減り続けています。2010年  
には1985年の半分以下の  
117万戸といわれています。  
それに伴い耕作放棄地は農  
地全体の1割近くになって  
います。こうした大きな環  
境変化の中で「生き抜き農  
業」を模索する日々が続  
きます。